

実験2が始まります

- ▶ Ubuntuを起動し、ログイン
- ▶ 実験2ソフトウェアのwebページへ

<http://www.ii.ist.i.kyoto-u.ac.jp/le2soft/>

- ▶ まずはブックマーク！
 - ▶ 資料を確認
 - ▶ pdf版をダウンロードしておく

計算機科学実験及び演習2

実験2の概要

- ▶ 火曜日3～4限(13:00～16:15)
- ▶ ソフトウェア、ハードウェアそれぞれの実験を行なう
- ▶ 担当教員・TA、実施場所も違います

前半：ソフトウェア	10月4日～11月15(7回)	総合研究7号棟 1F 計算機演習室1
後半：ハードウェア	11月29日～1月24日(7回)	総合研究7号館地下1階実験室

注意事項

- ▶ ソフト・ハード両方の課題を完成させること
- ▶ 出席を取ります
 - ▶ 一定以上の出席が必須
 - ▶ 遅刻・早退もチェック
 - ▶ ソフト・ハードそれぞれでカウント
- ▶ 実験時間外の自習が大前提

実験2ソフトウェアについて

- ▶ 教員

- ▶ 中澤篤志、馬場雪乃、加藤和成

- ▶ TA

- ▶ 草野 仁志、樋口 修、松田 貴大、飯塚 義徳

- ▶ 全員に届くML：質問等はここに送る

- ▶ le2soft@ii.ist.i.kyoto-u.ac.jp

実験WEBページ

- ▶ <http://www.ii.ist.i.kyoto-u.ac.jp/le2soft/>
 - ▶ 資料のダウンロード、
- ▶ PandAコース「計算機科学実験および演習 2」
 - ▶ 課題の提出・提出状況の確認

実験の概要

- ▶ H28年より大幅に変わりました
- ▶ マリオAIの実装による人工知能プログラム
 - ▶ GITによるプログラムソース管理
 - ▶ Javaによる実装
 - ▶ Javaの解説はあまり行いません（実験1を行っているのが前提）
 - ▶ 演習者の自由度が高いため、どんどん進める人は（最低限の演習課題をこなせば）勧めて構いません。
 - ▶ 実験1のアルゴリズムを積極的に利用してください

課題

- ▶ 報告書 1 : 締切10/25
 - ▶ 課題 1, 2 : マリオAIのステージパラメータの変更、穴を避けるエージェントを実装する
- ▶ 報告書 2 : 締切12/6
 - ▶ 課題 3, 4 : 敵を避けるエージェントの実装、より高度なエージェントの実装
- ▶ 報告書 2 については、最低限締切日までには何らかのレポートを出すこと。その後改良などした場合は、HWの終わりまでであれば追加提出を認める。

レポートの提出方法

- ▶ PandAを使って提出する
- ▶ 左側タブの「課題」から提出すること
- ▶ レポート本文とソースコードを両方送ること（別の課題名が付いている）

The screenshot shows the PandA web interface. The top navigation bar includes links for 'マイワークスペース', 'ビジュアルインタフェース', '人工知能特論', and a dropdown for '次のロールでサイトを表示'. The left sidebar contains a list of tabs: 'ホーム', 'スケジュール', 'お知らせ', 'リソース', '課題' (highlighted), '成績簿', '提出箱', 'メールアーカイブ', 'サイト情報', 'ダッシュボード', '統計情報', and 'ヘルプ'. The main content area displays the '課題' (Assignment) page for '計算機科学実験及演習 2 (計算機) <2016後期火4>: サイト情報表示'. It includes a section for 'お知らせ' (Notice) and a calendar for October 2016. The footer contains logos for Kyoto University and the Institute for Information Management and Communication.

課題

計算機科学実験及演習 2 (計算機) <2016後期火4>: サイト情報表示

高木一義(工学部/Faculty of Engineering) 2016年度後期火曜日4限 (2016-110-9022-000)

計算機科学実験及演習 2 (計算機) <2016後期火4>: 最近のお知らせ

オプション

お知らせ (過去 10 日間のお知らせを表示)

お知らせはありません。

計算機科学実験及演習 2 (計算機) <2016後期火4>: カレンダ

オプション

10月 2016

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

Copyright 2012 Institute for Information Management and Communication. All rights reserved.

レポートの書き方

- ▶ 報告書本文および該当するプログラムのソースコードを提出すること（本文とソースコードはPandA上で別の課題として出ているので、両方で提出すること）
- ▶ 報告書の本文は、テキストあるいはPDFファイルとする。内容は、以下のようすること。
- ▶ 報告書タイトル（例、計算機科学実験2ソフトウェア報告書1、計算機科学実験2ソフトウェア報告書2、計算機科学実験2ソフトウェア報告書3）
- ▶ 氏名・入学年度・学籍番号
- ▶ 以下は、「実施内容、実行（実装）結果と解説、結論と考察」を記述すること。課題が複数あるので、その課題数に応じて「実施内容、実行結果、結論と考察」を書くこと。
- ▶ 図や表などを入れてわかりやすくするよう工夫すること。
- ▶ 考察は「うまく行った（行かなかった）」の単純な結果のみでなく、どうしてうまく行かなかったのか、予想通り動いたのか、どういったことをすると良くなるか、などの考えを書くこと。
- ▶ 図は各レポートで3個以上、文字数は1課題に対し400文字以上は書くこと。
- ▶ **提出された報告書はTAがチェックする。TAから再提出されるよう指示される場合があるので、PandAを定期的にチェックすること。指摘された内容を修正し、再提出すること。**

実験の進め方

- ▶ 教員がはじめに説明する場合には、説明を聞く。
- ▶ その後は資料をもとに勝手に進めても良い
- ▶ わからないことは積極的にTAに質問する
- ▶ 成績は出席・報告書・総合デモによる（デモの内容はまたアナウンスします）

成績について

▶ 出席

- ▶ 毎回開始時に出席を取る
- ▶ 遅刻・早退時にはTAにその旨を申し出る（遅刻しても申し出ないと記録がつきません！）

▶ 報告書（2回）

- ▶ 課題の結果をレポートにまとめる
- ▶ 作成したプログラムとともにPandAで提出

▶ 総合デモ

- ▶ 作ったAIエージェントを教員・TAが確認します

注意

- ▶ 各課題毎のソースファイルは別のものにすること
 - ▶ 前課題のソースコードに「上書き」しない！
 - ▶ GITでのバージョン管理を強くすすめる
- ▶ 実験時間は「コーディングの時間」
 - ▶ 内容の把握は実験時間外に予習しておく
- ▶ Javaも実験時間外に自習すること
 - ▶ 実験で用意したサンプルコードも参考

では、マリオAIについて

▶ 馬場先生